

「看護学生が地域看護学実習で学ぶ地域看護の要素」調査研究ご協力のお願い

研究・実務責任者 湘南医療大学専攻科公衆衛生看護学専攻
※保健医療学部看護学科公衆衛生看護学担当
准教授 澤井美奈子

このたび、湘南医療大学保健医療学部看護学科を2022～2024年度の3年間4年次に開講された科目「地域看護学実習」履修中に履修学生がオンライン提出した記録や実習成果物（ポスターなど）の情報をういた下記の研究を、湘南医療大学倫理委員会の承認ならびに看護学科長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、該当科目を履修した皆さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない方は、連絡先までメールでお知らせ下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2021年3月～2024年3月に湘南医療大学保健医療学部看護学科の「地域看護学実習」を履修し、manabaに地区視診記録、セミナー等参加記録、実習で学んだことなどの提出物を提出した方

2 研究課題

承認番号 第 25-018 号（湘南医療大学研究倫理審査委員会）

研究課題名「看護学生が地域看護学実習で学ぶ地域看護の要素」

3 研究実施機関

＜研究実施機関＞ 湘南医療大学専攻科公衆衛生看護学専攻

研究責任者 准教授 澤井美奈子（地域看護学実習科目責任者）

共同研究者 講師 山崎真帆

助教 大高のぶえ

4 本研究の概要：意義，目的，方法

2020年保健師助産師看護師学校養成所指定規則が改正され、地域に暮らす人々の理解と地域で行われる看護を学ぶことの強化や地域の多様な場や多職種連携を学ぶ実習の促進が示されました。

本研究では看護師課程必修科目として3年間実施した地域看護学実習の成果から、看護師学生が地域を学ぶ意義と看護学生の実習で学ぶことが可能な地域の要素を明らかにすることを目的として、看護師課程必修科目として開講した地域看護学実習の学びに関する記述内容をテキストマイニングの解析ソフトウェアKH Coderを使用して質的に分析します。

本研究成果は、地域に暮らす人々の理解と地域における看護、地域の多様な場や多職種連携に関する学びの成果を可視化し、看護学生に必要な地域看護学実習とその教育方法を検討するための資料として意義があります。

5 協力をお願いする内容

4年次必修科目「地域看護学実習」の各種提出物（manaba提出物、グループ提出ポスター）内の記述内容を分析資料として使用することへの許可。

6 本研究の実施期間

研究期間：湘南医療大学倫理委員会承認後～2028年4月1日

対象調査期間：2022年4月～2024年4月

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う個人情報は在籍時の学籍番号と氏名です。
- 2) 分析にあたっては個人情報をすべて削除し、どなたのものかわからない形で使用します。
- 3) 皆さまの個人情報は研究責任者の研究室内で厳重に管理し、他への公開・提供はいたしません。研究に必要な場合のみ参照し、研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消、破棄します。

8. 研究計画及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧について

本研究計画に関するご質問や確認のご依頼は、下記へ e-mailでご連絡下さい。

9. 研究資金と利益相反

本研究は大学研究費を用いて行い、特定企業や研究機関などの利害関係はありません。

10. 研究結果の公表について

研究結果は地域看護学、公衆衛生分野の学会等で発表いたします。

11. 研究に関するお問い合わせ・連絡先

質問等は下記までご連絡下さい。個人情報漏洩のないよう配慮し説明に応じます。

データを使用してほしくない場合は、本依頼文書ホームページ掲載後1か月以内にご連絡下さい。

その場合、情報を解析から削除します。ご連絡のない場合はご了承頂いたものとさせていただきます。

湘南医療大学専攻科公衆衛生看護学専攻

※保健医療学部看護学科 公衆衛生看護学担当 准教授 澤井美奈子

メールアドレス minako.sawai@sums.ac.jp

以上